

10月 ほし・はなたより

日に日に朝晩が涼しくなってきた、少しずつ日中も風が吹くようになり、だんだんと暑い夏から秋へと季節の変化を感じるようになってきました。

天気の良い日には戸外にでて、他児と一緒に木の実をひろったり、花の水やりをしたり、砂遊びをしたりと、他児や保育士と話しながら活動する姿が見られるようになってきました。

朝夕の寒暖差で体調を崩しやすくなるので、体調の変化には十分気をつけて過ごしていきます。子どもの体調の変化は速いものです。早めの対策・対処をお願いいたします。

おねがい

*持ち物に、記名を大きくお願いいたします。

薄くなっている物、消えている物がありますので、確認をお願いいたします。

*ティッシュボックスの提供をお願いいたします。

*衣替えをお願いいたします。



行事予定

〇〇日 避難訓練

15日 身体測定

絵本について～お子さんと共に楽しみましょう

前は保育園でのほし・はなぐみの子ども達の読み聞かせの様子をお知らせしました。今回は絵本の持つ魅力をもう少しお伝えすることでお子さんとの絵本の時間をお母さん、お父さんが楽しんでいただけたらと思います。なので少し調べてみました。—Google 検索より—

【 絵本の魅力（お子さんにとって） 】

- ページをめくる楽しさや余白を通じて、自分で次の展開を思い描き、豊かな想像力を育てます。 子ども達はそこが大好きなので同じ本を何度読んでも目を輝かせて聞いています。
- 美しい日本語のリズムやオノマトペに触れ、語彙力や相手を思いやる共感性が自然と身につきます。 子ども達はオノマトペが出てくると個々で違う表情をしたり、一緒になって声に出し楽しんでます。
- 親子のスキンシップや読み聞かせを通じて、情緒が安定し自己肯定感の土台が作られます。読み聞かせに集中している子は真剣な、そしてとても楽しそうな瞳で見えています。

【 絵本の魅力（大人にとって） 】

- 短いページ数やシンプルな言葉だからこそ、本質的なメッセージや新しい発見に出会えます。読み聞かせをしていると、子ども達の新しい発見に出会えるのが楽しみで絵本を探したり、選んでいます。発見に出会えた時の喜びはとても大きく、子ども達の反応がそうでもなかった時は「次こそは・・・」と思います。（月齢に合ってなかったりした時です。）
- 慌ただしい日常から離れ、純粋な優しさや温かい絵のタッチに触れることで心の癒しにつながります。

絵本の魅力に気づいていただいたところで、子ども達が大好きな本をいくつか紹介します。これらは、クラスにありますので興味をもたれたら保育士にぜひ、声をかけて実際に手に取ってみてください。そして、気に入られたらお家にもお迎えしてあげてください。新品ではなく中古の本でも十分です。

